

平成30年度の主な事業と決算額

久喜市総合振興計画の7つの大綱に従い、紹介します。

1 市民が参加し、地域コミュニティ豊かなまち

- ・久喜地区街歩き事業（久喜地域会議事業） 411万円
地域の特色を生かした散策マップの作成および看板設置などを行い、地域の活性化を図りました。
- ・あやめ・ラベンダー関係施設等整備事業（菖蒲地域会議事業） 499万円
あやめ・ラベンダー関係施設等の整備を行い、地域の活性化を図りました。

- ・栗橋宿まちあるき観光活性化事業（栗橋地域会議事業） 470万円
栗橋まちめぐりスタンプラリーを実施し、地域の活性化を図りました。
- ・鷺宮地域ふれあい散策事業（鷺宮地域会議事業） 375万円
鷺宮地区散策マップを作成し、地域の活性化を図りました。

2 自然とふれあえる、環境に優しいまち

- ・災害廃棄物処理計画策定事業 211万円
大規模災害発生時における災害廃棄物処理の具体的な業務内容を示した、「久喜市災害廃棄物処理計画」を策定しました。

- ・新エネルギー導入事業 1,420万円
地球温暖化対策として、再生可能エネルギーや省エネルギー機器を導入する市民へ補助金を交付しました。

3 子どもから高齢者まで、誰もが健康で安心して暮らせるまち

- ・桜田小学校学童クラブ整備事業 2億5,640万円
桜田小学校学童クラブの受入拡大を図るため、新たな施設を建築しました。



- ・障がい者のための防災マニュアル作成事業 70万円
災害への備えや災害発生時における、障がい者向けの〈自助〉、支援者向けの〈共助〉、障がい者・支援者向けの〈公助〉のそれぞれの項目をまとめた「障がい者のための防災の手引き」を発行しました。

4 心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にすま

- ・英語教育指導事業 7,164万円
外国語指導助手（ALT）を増員し、小中学校の英語教育の充実および国際理解教育の推進を図りました。
- ・中学校プール改修事業 1,419万円
老朽化した久喜東中学校のプールの改修工事を実施し、教育環境の整備を図りました。

- ・本多静六記念館展示改修事業 281万円
展示スペースを改修し、本多静六博士の新たな資料を展示しました。
- ・発掘調査報告書作成事業 286万円
神明神社東遺跡および栢間小塚遺跡の遺物等の整理を行い、発掘調査報告書を発行しました。

5 安全で調和のとれた住みよい快適なまち

- ・（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園整備事業 8,327万円
「日本の公園の父」と称される本多静六博士の遺志を受け継ぎ、近年失われつつある緑を創生し、緑豊かで市民の憩いの場となるような公園の整備工事に向けて、レイアウトなどの基本設計を実施しました。また、用地取得を進めるとともに、公園用地の盛土工事に着手しました。
- ・地域防災計画及びハザードマップ改訂事業 1,990万円
市民の生命、身体および財産を災害から守るとともに、災害による被害を軽減するため、地域防災計画およびハザードマップの改定を行いました。

- ・地域公共交通実証実験事業 444万円
久喜地区において、デマンドタクシーの実証実験を実施し、データ収集を行いました。
- ・（仮称）菖蒲運動公園整備事業 1億9,155万円
ソフトボールなどのスポーツに利用できる多目的グラウンド、園路および付帯施設等の整備工事を実施しました。また、公園の管理棟の整備に向けて、修正設計を実施しました。



6 地域の産業が元気で、多彩な企業が集積する豊かなまち

- ・農業次世代人材投資事業 750万円
次世代の農業者を担うことを志向する者の拡大および青年就農者の定着を図るため、就農初期段階の経営の不安定な期間の支援を行いました。
- ・観光協会補助事業 2,243万円
観光事業の振興と観光資源の創造を図るため、久喜市観光協会に補助金を交付しました。

- ・中小企業・小規模企業振興計画策定事業 465万円
中小企業・小規模企業の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「中小企業・小規模企業振興基本計画」を策定しました。
- ・企業等誘致事業 1億2,778万円
企業を誘致することにより、産業の振興および雇用機会の拡大を図りました。

7 行財政を見直し、改革を進めるまち

- ・コンビニ交付事業 1,001万円
各種証明書について、全国のコンビニエンスストアにおいて交付を行うことで、窓口の拡大を図りました。

- ・旧理科大校舎等改修事業 5,232万円
旧東京理科大学校舎等を公共施設として有効活用するための改修工事および設計業務を実施しました。